

「事業名：「環境エネルギーまちづくり」を通じた地域社会イノベーション」 2019年度補助事業の実績・成果

東京大学 連携市町村：新地町

連携市町村との協定締結日：平成30年6月3日

現地拠点：相馬郡新地町駅前1丁目5番地 観海プラザA棟1階

事業のポイント

福島県新地町において、地域エネルギーシステムの将来ビジョン構築、社会動態分析とニーズ把握に基づく定住環境検討、それらを統合した共創型地域マネジメントを、公・民・学連携のまちづくり拠点「アーバンデザインセンター新地」を設立して実践する。これにより、「環境エネルギーまちづくり」のモデルを形成する。

今年度の活動実績

- 新地町、国立環境研究所、現地事業者等との協議による、UDCしんちを活用したまちづくり推進支援のための体制整備
- 地域の再生可能エネルギー（太陽光、風力）供給のポテンシャル評価と、その利用方法についてのシナリオ検討
- 地域のニーズ把握と「外部者の視点」による観光資源発掘、電動アシスト自転車を用いた町内のモビリティ向上のための調査等の実施
- 大学院生による演習の実施：学生とTA 27名が参加し、予備調査を含めて新地町を8回訪問。教職員等も含めた新地町での活動日数は94日
- 地元中学校との交流事業：尚英中学校1年生の全生徒75名が参加

今年度の成果

- 現地拠点「UDCしんち」の駅前施設移転による、住民に開かれたまちづくり拠点としての本格供用開始
- 地域の再生可能エネルギー供給のポテンシャルおよびFIT状況の把握と、電力供給の再生可能エネルギー化にむけた検討項目の設定
- 主として観光客を想定した関係人口増加に向けた調査結果を町と共有。さらにアウトリーチ素材の基礎づくりに貢献

I. 現場の活動拠点「新地アーバンデザインセンター」(UDCしんち)の設置・運営と復興まちづくりの支援・効果の評価

- 「UDCしんち」開所(2019.11.15)
- 学生活動のコーディネート・支援
- 町や関係機関のまちづくり事業と大学活動との連携・交流支援
- 研究者や学生のまちづくり支援



→ 現地での学生の活動拠点環境整備、町民への大学活動の周知や交流

↓ 学生等の現地での活動環境整備・支援 ↓

II. エネルギー・モニタリングデータ分析に基づくエネルギービジョン検討とまちづくりの担い手育成

- エネルギーの供給・需要分析
 - ・ 太陽光・風力発電の賦存量把握
 - ・ 気象観測器の設置 (町内3か所)
- 再生可能エネルギーの利用先検討
- 大学院演習実施
 - 学生19名、訪町5回



→ ビジョン構築のデータ収集・方向性担い手育成のエネルギー教育実施

III. 「サステナビリティ学」に関する大学院プロジェクト演習を通じた社会動態分析とニーズ把握にもとづく定住環境の形成

- グローバルフィールド演習実施 (学生参加者7名、訪町3回)
 - ・ 地域理解・ニーズ把握(聞き取り調査)・ワークショップ実施)
 - ・ 域内交通(道路状況調査)
 - ・ 観光資源(PR動画・マップ)



→ 町の持続可能な発展のための提案作成(コミュニティ/域内交通/観光)

↔ 協働プログラム参加・意見交換

↻ 3テーマ連携による教育・研究活動を活かした地域の交流・学びの場 ↻

町立尚英中学校「エネルギー学習」

実施：2019.9.12
教員等：8名
学生参加：4名
中学一年生：75名



公開成果報告会 @UDCしんち

実施：2020.1.21
教員等：8名
学生参加：10名
町民等参加：17名



2019年度の活動概要 [現地での活動総日数]94日 [新地町立尚英中学校との連携]1回
[現地訪問教員等の総人数]実人数：120名、延べ人数：180名
[現地訪問学生の総人数]実人数：66名、延べ人数：163名